

## (2) 木を育てる

### 林業に合った土地



どうしてこんなにたくさん杉の木が植えてあるのだろう。

「ずいぶんたくさん杉の木が植えてあるね。」

「いつごろ、だれが植えて育てたのだろう。」

「大きくなるまでには、どんな世話をしてきたのかしら。」

「いろいろな人々の努力やくろうがあったのね。」



わたしたちの町は、四方を山にかこまれていて、田や畑として使えるたいらな土地は少ないのです。そのため昔から、山を利用して木を切ったり炭をやいたりして暮らしに役立ってきました。

また、この地方は、気候がひかく的あたたく、木が育つのにちょうどよいしめり気もあり、山の土の質も肥えているので、木を育てるのにとってもよいのです。林業に合った土地であっても、こんなに立派な杉山に育てるまでには、とても苦勞しましたよ。



林業をしているおじさんの話